

2022年9月26日

各位

会社名 イヴレス株式会社
 (コード番号 7125 TOKYO PRO Market)
 代表者名 代表取締役社長 CEO 山川 景子
 問い合わせ先 執行役員 CFO 兼 管理本部長 佐川 輝
 T E L 03-5579-9490
 U R L <https://ivresse.jp/>

通期業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、以下の通り、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年12月23日に開示した2022年10月期(2021年11月1日~2022年10月31日)の通期業績予想を修正するとともに、2022年10月期下期連結決算において、特別損失を計上いたしますので、下記の通り、お知らせ致します。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正(2021年11月1日~2022年10月31日)

(単位:百万円)

| | 連結売上高 | 連結営業利益 | 連結経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 連結当期純利益 |
|---------------------------|-------|--------|--------|-------------------------|------------------|
| 前回発表予想(A) | 1,059 | △25 | △21 | △22 | △37円02銭 |
| 今回修正予想(B) | 958 | △96 | △90 | △93 | △151円77銭 |
| 増減額(B-A) | △100 | △71 | △69 | △71 | — |
| 増減率(%) | △9.4 | — | — | — | — |
| (参考)前期連結実績 (2021年10月期) | 1,072 | △70 | △63 | △65 | △112円93銭 |

(注)当社は、2021年11月16日付で第三者割当増資により普通株式38,000株が増加しており、当連結会計期間に係る期中平均株式数により、1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 修正の理由

当社グループは、国内の旅行・宿泊業界に属しているため、当社グループの業績は国内宿泊需要の増減に大きく影響を受けます。

このような中、当社の行うホテル客室備品事業の売上に関しては、国内宿泊需要は新型コロナウイルス感染症の発生・蔓延による影響から回復傾向にあるものの、想定ほど回復していない状況であり、前回業績予想発表時より微減となる見通しです。当社の行うホテル開業支援事業の売上に関しては、一部プロジェクトにおいて受注の範囲に変更があったことや、進捗が遅れが生じており、前回業績予想発表時より減少する見通しです。子会社の行うホテル受託運営事業の売上に関しては、2022年初頭における新型コロナウイルス感染症拡大の影響から上半期においては稼働率が減少したものの、その後、感染者数が一時的に減少したことに伴い稼働率は回復傾向に転じましたが、一部の施設においては想定ほどの回復には至らなかったため、前回業績予想発表時より減少する見通しです。これらの結果、連結売上高は前回発表予想より減少率△9.4%程度を見込んでおります。

一方、利益に関しましては、ホテル客室備品事業及びホテル開業支援事業において、為替の円安及び仕入れ価格の値上げの影響を受け、仕入コストが増加したことや、採用コストなどの一時的な費用が発生したため、当事業の利益率の悪化を招いたことから、前回業績予想発表時より連結営業利益が48百万円減少する見通しです。また、ホテル受託運営事業において、売上高が減少したことを受け、対応する粗利の減少があったことから、前回業績予想発表時より、連結営業利益が23百万円減少する見通しです。これらの結果、上表の通り前回発表を下回る見通しとなりました。

3. 特別損失の計上について

2022年10月期下期連結決算において、和解により損害賠償請求訴訟が解決したことに伴い、和解金1百万円を特別損失に計上いたします。本和解金に関しては、2022年9月8日付「和解による損害賠償請求訴訟の解決に関するお知らせ」をご参照ください。

(業績等の予想に関する注意事項)

業績予想につきましては、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上